

2024年度 第4回例会(Webinar) 「パーキンソン病 - 診断とモニタリングの課題」

パーキンソン病は、衰弱を伴う複雑な神経疾患で、近年ますます増加しています。治療法が確立されていない進行性の疾患であるため、様々な運動症状や非運動症状が現れ、重篤な障害を引き起こす可能性があります。

本講演では、パーキンソン病の診断における課題について述べるとともに、この疾患の診断と予後の改善に役立つ可能性のある新たな技術革新についても紹介します。

◆日時：2024年9月3日(火) 18:00 ~ 20:00

※当日の参加が難しい方のために、後日、録画動画のオンデマンド配信を実施いたします。オンデマンド配信を視聴した場合にも当日参加と同様、公式CPD単位として反映しますので、当日の参加が難しい方は是非ご活用ください。

【9月17日(火)~ 9月30日(月)の期間にオンデマンド配信にて再放送を実施(予定)】

再放送の参加方法等は改めてご案内いたします。

また、当日の講演動画はeラーニングコンテンツとして掲載予定ですので、当日・再放送ともに参加できなかった方はeラーニングコンテンツをご活用ください。

◆会場：ZoomによるWebinar開催(定員 先着500名)

◆講師：Paul Blyth 氏 <Head of Underwriting and Claims Proposition SCOR RE >

※英語での講演となります。当日は日本語通訳があります。

◆参加登録：別紙をご参照ください。定員に空きがあれば、開催時刻まで登録は可能です。

※登録の際にご入力いただく氏名・会員番号・生年月日は、例会当日のCPD単位のための出席確認に利用します(単位集計をより正確に行う目的で、生年月日のご入力をお願いしております)。お間違えのないよう、正確にご入力をお願いいたします。

※登録上限を500名に設定しており、上限に到達した場合には登録ができません。参加を取りやめる場合は登録のキャンセルをお願いいたします。

◆講演資料：当会会員ホームページからダウンロードしてください(講演当日までに掲載予定)

◆質疑応答：QA・アンケートツールである「Slido」を使用します(詳細は別紙をご確認ください)。パソコンでライブ配信を視聴し、スマートフォンでSlidoを使用することをお勧めします。なお、「Zoom」のQ&Aにご入力いただいた質問も、例会事務局にて「Slido」へ転記します。

■講師プロフィール



Paul Blyth 氏

主な職務は、英国およびアイルランド市場におけるSCORの引受および支払において、主要顧客との関係を維持・強化することです。支払業務で20年以上の経験を持ち、定期的に顧客向けのトレーニングを開発・提供し、英国チームのウェビナーやSCORacle Newsletterのコーディネーターを務めています。
SCORを代表し、FOCUS(Forum of Claims and Underwriting Scotland)、Health Insurance Society、Select 74、Health Claims Forum、Health, Care and Protection conferenceなど、さまざまな業界イベントで何度も講演を行っています。
がんと神経学に特に関心があり、陽子線放射線療法、免疫療法、希少がん、神経内分泌腫瘍、消化管間質腫瘍、腹膜癌、粘液腫など、長年にわたり多くの出版物を発行しています。